

山梨県入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和4年11月22日 10時00分から12時00分まで 県防災新館 406 会議室	
委員	委員長：森 一博（山梨大学大学院教授） 委員長代理：松野 範子（一級建築士） 委員：鈴木 優典（山梨学院大学教授） 中澤 秀昭（弁護士）	
審議対象期間	令和4年7月1日～令和4年9月30日	
総契約件数	383 件	(備考) 審議件数 ・一般競争入札 6 件 ・通常指名競争入札 1 件
一般競争入札	358 件	
(総合評価)	(244 件)	
通常指名競争入札	20 件	
随意契約	5 件	
指名停止状況	3 件	
私的独占又は不当な取引制限に係る情報処理状況	1 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	審議した7件については、適正に処理されていると認められるが、全体を通じた意見として、会議録末尾に記載のとおり、委員から指摘があった。	

別紙

《抽出事案の審議》

1〔一般競争入札(事後審査型)〕

〔富東林環事-22-0170 堂の沢治山工事(余フ)〕

〈工事概要〉

谷止工1基 L=21.0m、H=7.0m、V=281.6m³

〈予定価格〉

25,160,300円(消費税含む)

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 富士・東部林務環境事務所管内
- ・競争入札参加資格 土木工事業(A又はB又はC)
- ・企業の施工実績 7百万円以上の土木一式工事
ただし、元請として請負い平成19年4月1日から入札参加資格締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う
- ・配置予定技術者の資格 予定価格が8千万円未満のため不要

〈質疑応答〉

Q) 平成25年度施工の前回工事の施工業者は今回と同一業者か。

A) 同一業者である。

Q) このような工事の施工業者は多くないということか。

A) 入札参加資格がある業者のうち半数近くが同様の工事の施工経験があるが、本工事の施工場所が住宅地に隣接しており、地域に精通している業者が施工しやすい状況にあり、前回の実績を踏まえて今回同じ業者が落札したのではないかと考えている。

Q) 平成23年度も同じ業者か。

A) 別業者であった。

Q) 他の業者が工事に入ることもあるということによろしいか。

A) はい。

Q) 不調となった1回目の入札の予定価格はいくらであったか。

A) 同一金額である。

Q) 予定価格の積算の仕組みにおいては、物資の価格上昇等もある程度反映された状態で計算されるのか。

A) はい。ただ、この間(不調となった1回目と今回)では反映されたものはなかった。

2[一般競争入札(総合評価落札方式)(事前審査型)]

[治水課-22-0004 広瀬ダム洪水吐減勢工改良Ⅱ期工事(一部債務)]

〈工事概要〉

欠損部補強工(モルタル吹付) A=467 m² t=240 mm

仮設工 1 式

〈予定価格〉

362, 769, 000円(消費税含む)

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 (代表構成員・構成員) 県内
- ・競争入札参加資格 (代表構成員・構成員) 土木工事業A
- ・企業の施工実績 (代表構成員)吹付工(コンクリートまたはモルタル。法枠工は非該当)を含む、請負金額1億円以上の土木一式工事。
ただし、元請として請負い、平成19年4月1日から入札参加資格締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 (代表構成員・構成員)監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者
- ・配置予定技術者の施工実績 (代表構成員) 完成時に監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者、担当技術者(完成時にCORINSに登録された者に限る。)又は監理技術者資格者証を有した現場代理人(完成時にCORINSに登録された者に限る。)として平成19年4月1日から入札参加資格申請締切日までに「企業の施工実績」と同様の施工従事経験を有する者

〈質疑応答〉

Q) 1期工事はどこが受注したのか。

A) 同様のJVが落札した。

Q) 辞退理由は何か。

A) 提出された辞退理由書によると、他の工事に技術者を配置するためとのことである。

Q) 工事自体の難易度はそれほど高くないか。

A) ある意味単純な工事ではあるが、施工条件として、洪水期にはできないため、冬場の工事となる。標高が高いため寒く、モルタル吹付の際の温度管理が難しい。減勢工に対して非常に大きな足場を組む必要があり、工事難易度が上がる。

Q) 傾斜が急であるため、工事難易度が高くなるという理解でよいか。

A) 技術的にも高いものが必要と認識している。

Q) 3期工事の予定はいつ頃か。

A) 現在2期工事施工中で、予算の関係もあるが、濁水期の施工となるため、来年の今頃にできればと考えられる。

Q) 同じ業者が引き続き施工する方が有利となるか。

A) 足場は全て撤去してしまうため、ノウハウの蓄積はあるかもしれないが、それほど有利性があるとは言えない。

3〔一般競争入札(総合評価落札方式)(事前審査型)〕

〔道路整備課-22-0005 (主)甲斐早川線 道路工事(一部債務)(余フ)〕

〈工事概要〉

排水路トンネル工 L=144m

トンネル工 L=144m 掘削方式 NATM 工法(発破方式)、内空断面A=15.0m²、側壁コンクリートV=177.9m³、
底壁コンクリート V=218.8m³、立坑工φ5m H=26.0m、流木対策工 一式

〈予定価格〉

466,224,000 円(消費税含む)

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 (代表構成員・構成員) 県内
- ・競争入札参加資格 2社JV (代表構成員・構成員) 土木工事業A
- ・企業の施工実績 (代表構成員) NATM工法によるトンネル工事の施工実績。ただし、元請として請負い、平成12年4月1日以降に完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 (代表構成員・構成員) 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者
- ・配置予定技術者の施工実績 (代表構成員) 完成時に監理技術者、主任技術者、担当技術者(完成時にCORINSに登録された者に限る)又は監理技術者資格者証を有した現場代理人(完成時にCORINSに登録された者に限る)として平成12年4月1日以降に「企業の施工実績」と同様の施工従事経験を有する者

〈質疑応答〉

- Q) 今回結果的に1JV の応札となっており、説明の中で、やや専門的な工種であるということであった。一方で、山間部のトンネル工事という意味では標準的と考えてよいか。あるいは難しい工事であるか。
- A) 道路整備課の事業では、山間部の道路トンネルの工事は多々あるが、本工事は水路トンネルであり、概要にもある通り、内空断面が15平米である。通常の2車線トンネルは45平米以上あるため、通常の約3分の1となっている。そのような狭小な断面の中で作業となるため、機械も通常の道路トンネルとは異なり、専門性のあるものを使用する。そのため、専門性が高く、経験も必要となることから、難工事の部類に入ると考えている。
- Q) この工法は設備が多く必要となるか。
- A) はい。狭いということはあるが、通常のトンネルと同じ作業を行うため、同じような設備が必要となる。
- Q) 現在の工事の稼働状況はどうか。業者が応札しにくいほど工事が施工されているという状況であるか。
- A) 当該現場については、それほど負担になっているということはないが、県全体としてどの程度施工されているかは手元に資料がないため、お答えできない。
- Q) いつも本委員会が出る意見ではあるが、多数の業者に参加してもらえるような様々な努力はしていただきたい。

4[一般競争入札(総合評価落札方式)(事前審査型)]

[営繕課-22-0147 青少年センターリバーズ和戸館改修機械設備工事]

〈工事概要〉

構造・規模 鉄筋コンクリート造 地上2階建て 延べ面積1182.46m²

改修内容 空調、換気、衛生器具、給水、排水、給湯、消火、ガスの各設備の更新

〈予定価格〉

128,700,000円(消費税含む)

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 (代表構成員・構成員) 県内
- ・競争入札参加資格 2社JV
(代表構成員) 管工事業A(要特定)
(構成員) 管工事業A又はB(予定価格に出資比率を乗じて得た額が5千万円未満の場合Bとできる。)
- ・企業の施工実績 (代表構成員)6千万円以上の建築物の管工事
ただし、元請として請負い、平成19年4月1日から入札参加資格締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 (代表構成員) 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級管工事施工管理技士又は同等以上の資格を有する者
- ・配置予定技術者の施工実績 (代表構成員) 完成時に監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者、担当技術者(完成時にCORINSに登録された者に限る。)又は監理技術者資格者証を有した現場代理人(完成時にCORINSに登録された者に限る。)として平成19年4月1日から入札参加資格申請締切日までに「企業の施工実績」と同様の施工従事経験を有する者

〈質疑応答〉

Q) 本工事は、1回目、2回目の入札が不調となったとのことであるが、3回とも参加業者は同じ業者であるか。

A) 1回目、2回目は同一JVである。3回目は、代表構成員について1回目、2回目と同一であるが、構成員は異なる業者である。

Q) 2回目の入札よりも、3回目の予定価格を上げたということよろしいか。

A) はい。税込み330万円程度予定価格を高く設定して実施した。

Q) その結果、1JVの応札で、落札されたということよろしいか。

A) はい。

Q) 同時期に県立文学館、県民文化ホール、ぴゅあ総合の工事が重なったということであるが、県として、営繕課として、これらの改修について、計画が重ならないよう調整はしないのか。築年数等もあり、困難な部分もあるとは思っているか。

A) 営繕課は、他部局、例えば福祉保健部や総務部等の事業課からの依頼を受け建設工事を実施している。

県土整備部の工事であれば調整ができるが、他部局の事業スケジュールの要望に合わせて発注するので、発注時

期が重なってしまう場合がある。例年ここまで重なることはないが、今回は複数工事が重なってしまった。

Q) 今回参加資格を県内業者としているが、該当工事を請け負える県業者は限られているため、できるだけ重ならないように調整していただければと考える。

A) はい。

Q) 同時期に施工する工事は入札の時期も変わらないということによいか。

A) 本工事については、3 回目の入札となってしまったが、1 回目の入札は他の管工事の発注と重なっていた。年度初めに発注し、年度内に施工を完了することを各所属から依頼されており、そのため重なってしまった。

Q) 入札参加者を何とか確保することに苦労しているように見受けられるが、その一方で、企業の下請けの問題や技術者の高齢化など構造的な問題がありすぐに解消するものではないとは思いますが、その中で入札者を確保する、多くの業者に入札参加してもらうためにどのような工夫をしているか、また検討をしていることはあるか。

A) 営繕課では、建設物価等の刊行物を参考に積算しているが、刊行物の更新単価が間に合わないくらい物価が上昇しているという状況があるため、最新の情報を集め、メーカー、資材会社にヒアリングする等、一つ一つ確認をしている。また、工期を年度内のみでなく、2 カ年度に渡る工事にすることや、工期に余裕をもたせることを依頼する等、事業課に働きかけをしている。

Q) 工期が伸びると施設が使えないということか

A) そのとおりである。そのため、難しい部分もあるが、できるだけ努力をしていきたいと考えている。

5〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査型）〕

〔中北建設事-22-0222 国道141号電線共同溝工事(3工区)(余フ)(一部債務)〕

〈工事概要〉

電線共同溝工事 L=242m

特殊部 N=6 箇所 分岐柵 N=10 箇所 舗装工 A=388m²

〈予定価格〉

89,441,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 県内
- ・競争入札参加資格 土木工事業 A又はB（特定建設業許可を要する）
- ・企業の施工実績 元請として請負い平成19年4月1日から入札参加資格締切日までに完成引き渡し済みの請負金額4,000万円以上の道路工事の施工実績。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者

〈質疑応答〉

Q) 1工区と2工区の入札者数はどのようになっているか。

A) 1工区は応札者1者、2工区は3者が応札している。

Q) 落札者は。

A) 1工区は今回と異なる業者が落札しており、2工区は今回の業者が落札している。

Q) 施工区間がつながっていることで有利なことはあるか。

A) 円滑に工事を進めていくためには沿道の地権者、利用者、地域の方との関係性を構築する必要がある。また、1万台以上通る交通量が多いところでもあるので、それら現場の特性を考えると施工しやすい面はある。

Q) 市街地であるために、技術的にも難しい面があるとのことであったが、応札可能な業者が172社ある中で、多くの業者が避けるほど難しい条件ではないように感じるがどうか。

A) 基本的には歩道内の作業ではあるが、車道への影響もあるため、施工時は片側交互通行にする必要がある。また、重交通路線のため、夜間での施工としており、昼間の施工以上に、事故を未然に防ぐ対策をとる必要があることから、相応の技術が必要となる。

6〔一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査型）〕

〔企・電気課-22-0010 藤木発電所 配電線連系化等工事（継続）〕

〈工事概要〉

機器製作・据付・既設設備改造 一式、配管・配線 一式、連系柱建柱 一式、低圧・制御ケーブル移設 一式
付帯設備設置 一式、スマートメーター化対応機器設置 一式、試験・調整 一式、既設設備撤去 一式

〈予定価格〉

84, 183, 000円(消費税含む)

〈入札参加資格〉

- | | |
|-------------------|---|
| ・本店所在地 | 指定なし |
| ・競争入札参加資格 | 電気工事業 |
| ・経営事項審査の電気工事総合評定値 | 860点以上 |
| ・企業の施工実績 | 高圧受変電設備の据付又は更新を含む、請負金額4千万円以上の電気工事。ただし、元請として請負い平成19年4月1日から入札参加資格申請締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。 |
| ・配置予定技術者の資格 | 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級電気施工管理技士又は同等以上の資格を有する者 |

〈質疑応答〉

- Q) 説明の中で、既設の設備を改造していくという点において、技術的に高いものが要求されるということであったが、そのことと、昨今の情勢において様々な部品の納期の不安定が原因で一者応札となったということによるのか。
- A) そのように考えている。
- Q) 当面このような状況が続くとすると、業者としては、工事が施工できなくなるという状況になると考えられるが、それに対して、本件に限らず何か対応をとっているか。
- A) この工事以外にも、資材高騰及び半導体不足により、特に電気の盤を設置するような工事については、どれも納期が遅れている状況である。工期を延長しないと発注できないという状況となっている。
そのような場合には、工期の延長をする対応をとったり、見積をとった段階で金額が高くなるという場合については、見積に合わせて金額を上げるという対応をとったりしている。
- Q) このことは、企業側も承知しているか。
- A) ヒアリングをすると、多くの企業が同じような状況であることが伺える。

7〔通常指名競争入札〕

〔**峡南農務事-22-0016** ゆずの郷地区 土録3工区付帯工事〕

〈工事概要〉

付帯工一式

安定処理工 A=770 m²、暗渠排水工 L=300m、表土剥ぎ取り V=450 m³、表土戻し V=450 m³

〈予定価格〉

9, 922, 000円(消費税含む)

〈指名業者選定の基準〉

1. 峡南農務事務所管内C及びD業者の41社を選定した。
2. 本店所在地が南巨摩郡富士川町内にあり、過去15年間の峡南農務事務所発注工事の受注件数を基準に上位3社を選定した。
3. 残りを本店所在地が西八代郡市川三郷町内にあり、過去15年間の峡南農務事務所発注工事の受注件数を基準に上位2社を選定した。

〈質疑応答〉

Q) 本件は富士川町に本店所在地がある会社を指名したということでしょうか。

A) 工事現場からある程度近いことに加え、今回は、暗渠排水等の前年度の区画整理工事で農務事務所独特のほ場内工事であることから、ある程度施工実績があることを条件として、峡南農務事務所の過去の受注状況を参考にしながら選定し、隣の市川三郷町から残りの業者を同様の条件で選び、5社選定した。

Q) 今回は3工区ということであるが、1工区、2工区があるということでしょうか。

A) 計画の中で、1工区、2工区、3工区とあり、今回は3工区の工事である。

Q) 以前の工区も同じように発注しているのか。

A) 同様の考え方で選定をしていく予定である。

Q) 1工区、2工区は同じ業者が受注しているのか。

A) 今後工事を発注する際には、過去の施工実績を考慮しながら選定していく。

Q) 同じ地域での工事となると、今回の選定方法であると、同じ業者が選定されるように思えるがどうか。

A) 今回は、過去の実績など総合的に考慮しているが、工事内容によって、選定基準を変えている。

Q) 1工区、2工区は堰の1工区、2工区という認識でいいか。

A) 堰のない箇所もあるので今後整備していく部分もある。

Q) 今回の工事は、3工区を整備した中の付帯工事として実施したということでしょうか。

A) はい。

《全体を通しての意見》

大規模設備工事案件について、発注時期が重なると入札不調につながる可能性があるため、計画的な発注となるよう努力すべきとの発言があった。